

令和 4 年 8 月 5 日  
日本下水道事業団

**JS が共同開発した技術が  
第 48 回優秀環境装置表彰「日本産業機械工業会会長賞」を受賞**  
— 温室効果ガス削減を考慮した発電型汚泥焼却技術 —

令和 4 年 7 月 26 日、一般社団法人日本産業機械工業会主催の「第 48 回優秀環境装置表彰」(※1 参照)において、日本下水道事業団 (JS) が民間企業および川崎市と共同で開発した以下の装置 (技術) が日本産業機械工業会会長賞を受賞しました。

今回受賞した技術「温室効果ガス削減を考慮した発電型汚泥焼却技術」(※2 参照)は、国土交通省の平成 29 年度下水道革新的技術実証事業 (B-DASH プロジェクト) に採択され、平成 30 年度までの 2 年間の実証研究とその後の自主研究において性能確認と技術確立を行った技術です。

JS は、今後も下水道イノベーターとして、地方公共団体のニーズに応え、脱炭素社会実現に貢献する下水道技術の開発・実用化を促進して参ります。

- 受賞装置名：新型汚泥焼却設備 (OdySSEA (オデッセア))
- 開 発 者：JFE エンジニアリング株式会社・JS・川崎市上下水道局

※1: 優秀環境装置表彰

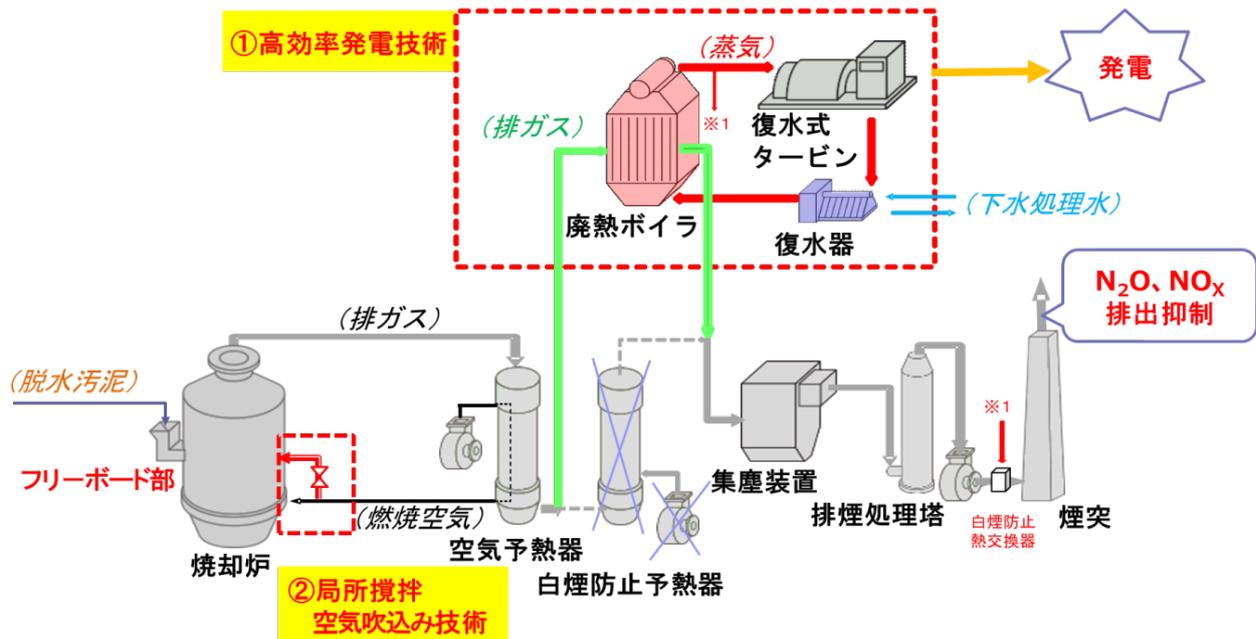
一般社団法人日本産業機械工業会が、1974 (昭和 49) 年度より経済産業省 (旧通商産業省) の後援を得て、環境保全技術の研究・開発、並びに優秀な環境装置 (システム) の普及の促進を図ることを目的に実施しているものです。

JS が共同開発した環境装置は、これまでに第 44 回優秀環境装置表彰 (平成 30 年) 及び第 47 回優秀環境装置表彰 (令和 3 年) において、以下の 3 件で受賞しています。

- ・ 経済産業省産業技術環境局長賞「無曝気循環式水処理装置」(開発者：高知市上下水道局、国立大学法人高知大学、メタウォーター株式会社、JS)
- ・ 日本産業機械工業会会長賞「圧入式スクリュープレスによる濃縮脱水一体システム」(開発者：JS、株式会社石垣)
- ・ 経済産業大臣賞「OD 法における二点 DO 制御システム」(開発者：前澤工業株式会社、国立大学法人高知大学、JS)

※2：温室効果ガス削減を考慮した発電型汚泥焼却技術

下水汚泥焼却炉における廃熱を利用した高効率発電技術と、焼却炉に流動空気の一部を局所的に吹き込む局所攪拌空気吹込み技術を組み合わせた技術です。高効率発電技術により、汚泥焼却量 60～300wet-t/日の中大規模施設でも高効率な発電を可能となります。さらに、局所攪拌空気吹込み技術により炉内の燃焼状況を改善し、高温燃焼を実現することで、一酸化二窒素と窒素酸化物の排出量を同時に削減することができ、温室効果ガスである一酸化二窒素の排出量を従来の半分以下に抑えることが可能となります。



温室効果ガス削減を考慮した発電型汚泥焼却技術の概要



## 表彰状授与

左：日本産業機械工業会  
齋藤会長  
右：JS 細川理事



## 受賞者記念撮影

前列中央：  
日本産業機械工業会  
齋藤会長  
後列左 5 人目から順に  
JS 細川理事  
JFE エンジニアリング(株)  
阿部常務執行役員  
川崎市上下水道局  
鈴木担当理事

<問い合わせ先>

技術開発室 総括主任研究員

新川 祐二

TEL：03-6361-7849